



学校だより 令和7年7月号

【文蔵小ホームページ】

文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校



〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29
TEL 863-0721 FAX 836-1583

★毎日更新中★

「『振り返り』を大切に」

校長 丸山 謙一

いよいよ7月になりました。70日間の1学期も、今日を含めてあと14日で終了します。振り返れば「あっという間」でしたが、子ども達は毎日様々な経験をとおして着実に成長してきました。6月は5つの学年が校外学習に出かけました。五感を使って体験したことをとおして、教室では味わえない貴重なことを学ぶことができました。また、集団で行動することや公衆の場での行動についても学ぶことができました。大変貴重な機会でした。

さて、学期末を迎えるに当たり、子ども達にも保護者の皆様にもお願いしたいことがございます。それは、1学期の「振り返り」を行うことです。もちろん学校でも、普段の授業や行事等の際に計画的に行っていることですが、ぜひこの時期にご家庭でも意識して話し合っていたいただきたいのです。その理由を3つ示します。

【その1】「振り返る」ことで自分の成長を実感させ、自己肯定感を高めることができる

- ・子どもが「できたこと」を挙げたら、保護者は認めてすぐに具体的に「褒める」ことが大切。

【その2】「振り返る」ことで、自身の取組を具体的に評価することができる

- ・「なぜできたのか(できなかったのか)」「どんな方法でやったのか」「どんな考え方をしたのか」「どんな価値を見つけたのか」「なにが足りなかったのか」等、目標の立て方や手段、思考の流れなどについて、会話をとおして具体的な内容を引き出し、子ども自身の「気づき」にする。

【その3】「振り返る」ことで、次のステップの「見通し」をもつことができる

- ・「できたこと」については、ステップアップを目指して次の目標を設定し、さらにできるようになるための方法や時期など、具体的な計画を立てることができ、取り組むことが明確になる。
- ・「できなかったこと・もうすこし」は、【その2】で気付いた「修正・改善」の視点を元に、できるようになるための計画を、自分自身で具体的に立てることで、意欲的に取り組むことができる。

この3つのステップを繰り返すことで、子ども自身が「自分の力」で成長することが期待できます。この繰り返しを生み出すためには、学校でもご家庭でも、近く大人の支援が必要です。日常でも取り組めることですが、初めのうちは意識しないと「忙しい」「時間が無い」という大人の都合で「【その1】の「褒める」」で終わってしまいがちです。また、「結果」ではなく「過程」を具体的に褒める（例：毎日忘れずに〇回頑張ったからできたんだね）ことやその場で褒める（例：すぐに取り掛かることができてすごいね）ことが重要です。間もなく1学期が終了します。その後には夏休みが待っています。学校とご家庭双方で「振り返り」に取り組み、子ども達の成長をさらに大きく・多く積み重ねていけるようにご協力をよろしくお願いします。

最後に、今学期いただいたご支援に心よりお礼申し上げます。今後とも「笑顔であいさつ」あふれる学校づくり・地域づくりにご協力をお願いします。